

報道機関各位

2009年9月7日
株式会社ユビキタス
(証券コード:3858)

ユビキタス社、iPhone/iPod touch 向け

星座エンターテイメント アプリ「NIGHT SKETCH」を発売

～Ubiquitous Research Project から生まれたソフトウェア第1弾～

株式会社ユビキタス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:川内 雅彦、以下、ユビキタス社)は、iPhone^(TM)/iPod^(R) touch 向けのアプリケーションソフトウェアである「NIGHT SKETCH」を、本日より iTunes^(R) App Store を通じて、世界各国にて発売開始したことを発表いたします。

「NIGHT SKETCH」は、星座を見て・創って・交換することができる、エンターテイメント性に富んだアプリケーションで、次の特徴があります。

「見る」

- ・星座早見表として利用できます。
- ・88星座のかたち・名前の由来が分かります。
- ・iPhone/iPod touch を夜空にかざして見ることによって、簡単に、星座がどこにあるか分かります。
- ・iPhone を上下に動かす事で、見る角度に連動して星座が表示されます。

「創る」

- ・夜空に広がる星を自由につなぎ合わせて、あなただけのオリジナルの星座を創る事ができます。夜空をキャンバスにして、自由にスケッチしてください。
- ・創った星座は、名前や由来を付けて保存する事ができます。

「交換する」

- ・創ったオリジナルの星座を、知人・友人と交換することができます。NIGHT SKETCH を持っている人同士で、Bluetooth または Wi-Fi 経由で、送信・受信が可能です。

本ソフトウェアは、ユビキタス社の社内公募プロジェクトである Ubiquitous Research Project から生まれたものです。ユビキタス社では、将来のユビキタス・ネットワークに資する技術開発を、エンジニアの自由な発想に任せて一定期間取り組ませる試みを持っています。

本ソフトウェアは、同プロジェクトの一環として開発され、プロジェクトからは初の商品化となります。

ユビキタス社は、既にあらゆる組込み機器をネットワークで繋ぐためのソリューションである UbiquitousTCP/IP 製品、組込み機器内のデータを高速に効率よく管理するソリューションである UbiquitousDeviceSQL 製品等を開発販売しており、組込み機器間でデータを伝達する、組込み機器内のデータを管理する部分を網羅しております。

次のステップとして組込み機器内のデータをユーザーに対して、如何にわかりやすく表現(プレゼンテーション)するかということが研究課題としてあがっており今回、その調査および研究の一環として、iPhone^(TM)/iPod^(R) touch 向けのアプリケーションを開発しました。

今後、ユビキタス・ネットワーク社会の中で、あらゆるデバイスをネットワークで繋ぐ事を試みる時、「データを高速に効率よく伝達する」、「データを高速に効率よく管理する」、そして「データをわかりやすく表現する」ことがますます重要になってきます。今後は、今回の研究開発を更に発展させ、スマートフォン上の単体アプリケーション開発だけでなく、他の組込み機器とスマートフォンを組合せるなどの、新たなネットワーク市場の創造に貢献して参ります。

■ 商標

iPod、iTunes は、米国および他国における Apple Inc.の登録商標です。iPhone は、Apple Inc.の商標です。その他、全ての会社名、製品名は各社の登録商標もしくは商標です。

■ 株式会社ユビキタス(証券コード3858)について

ユビキタス社は、ユビキタス・ネットワークの夢を実現することを目指して創業されました。身の回りの様々な機器が、我々が意識することなくネットワークにつながって仕事をしてくれる、そんなユビキタス・ネットワークの実現には「小さく、軽く、速い」ネットワークのソフトウェアが不可欠です。ユビキタス社は世界最小、最軽量、最速のネットワーク・ソフトウェア開発を通じて、ユビキタス・ネットワークの実現に貢献します。

■ 本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社ユビキタス

〒163-0610 東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 10F

TEL: 03-5908-3451 FAX: 03-5908-3452

URL: <http://www.ubiquitous.co.jp/contact/>

添付

図 1：アプリケーション起動タイトル画面



図 2：天球を外側から見た様子

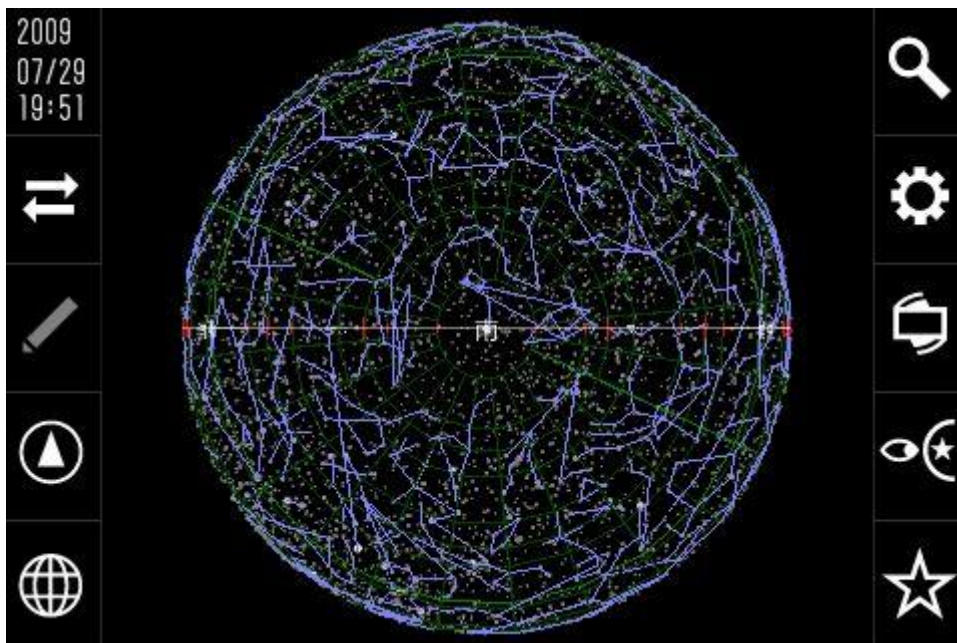


図 3: 星座を見る

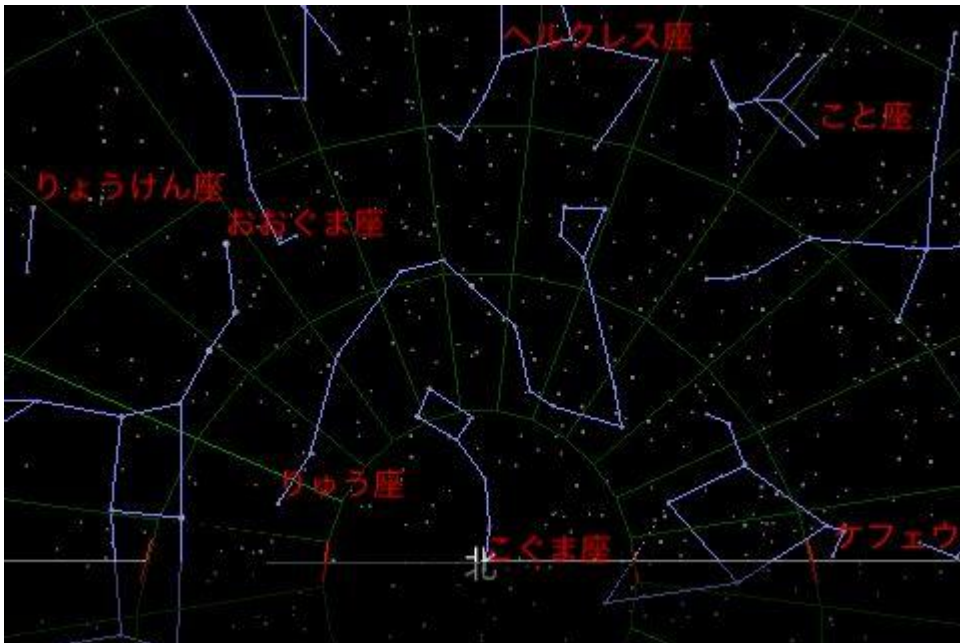


図 4: オリジナルの星座を創る

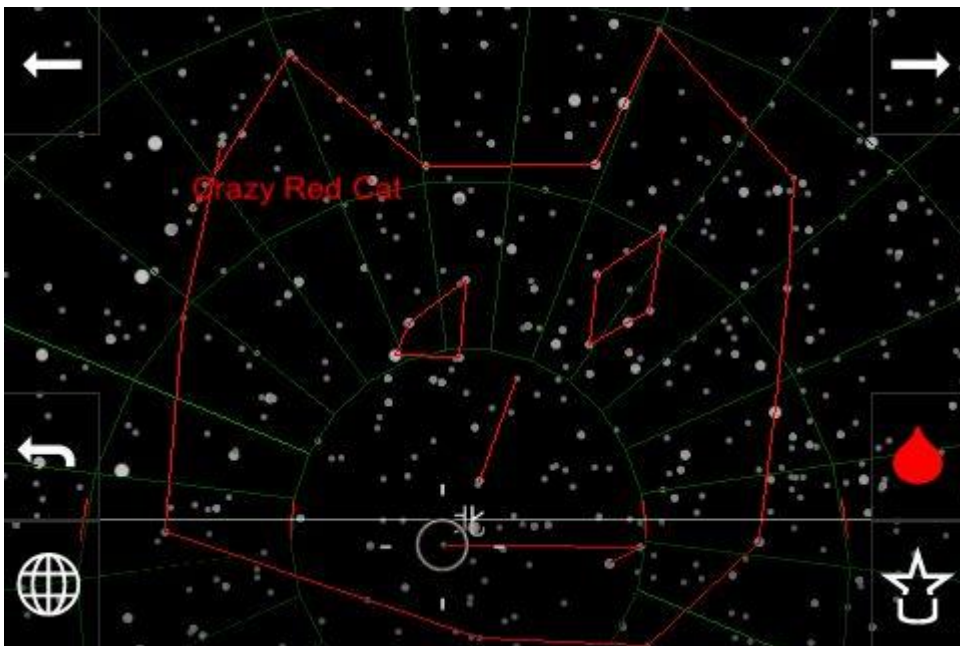


図 5： 星座を交換する

